



神聖ローマ帝国におけるアーサー王伝説とその変容 をめぐる人文地理学的考察：アンデクス・メラン大 公領における「パルツィヴァール」と「ヴィーガロ イス」から

川西, 孝男

(Citation)

人文地理学会2016年大会

(Issue Date)

2016-11-13

(Resource Type)

conference object

(Version)

Version of Record

(Rights)

ここに掲載した著作物の利用に関する注意: 著作物の著作権は人文地理学会に帰属します。本著作物は著作権者である人文地理学会の許可のもとに掲載するものです。ご利用に当たっては”著作権法”に従うことをお願いいたします。

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/90003692>



神聖ローマ帝国におけるアーサー王伝説とその変容をめぐる
人文地理学的考察
——アンデクス・メラン大公領における「パルツィヴァール」と
「ヴィーガロイス」から——

**The Study of Legends of Arthur in Holy Roman Empire using Human-Geographic
Approach about their acceptance and transformation
:from the viewpoints of Herzog Andechs-Meranien's Parzival and Wigalois**

川西 孝男（関西学院大学博士研究員）

KAWANISHI Takao (Ph.D. Fellow of Kwansei-Gakuin University)

キーワード：アーサー王伝説，神聖ローマ帝国，アンデクス・メラン大公家，ヴォルフラム・フォン・エッセンバッハ「パルツィヴァール」，ヴィルント・フォン・グラーフエンベルク「ヴィーガロイス」，アンズバハ・パイロイト辺境伯
Keywords：Legend of Arthur, Holy Roman Empire, Herzog Andechs-Meranien, Wolfram von Eschenbach: Parzival, Wirt von Grafenberg: Wigalois, Markgraf Ansbach-Bayreuth

＜本論の概要＞

英国で誕生したアーサー王伝説は、11～12世紀頃までにヨーロッパ大陸で受容され、特にフランス諸侯の宮廷でキリスト教本来の色彩をより強く帯びた「聖杯騎士伝説」として、さらには神聖ローマ帝国の中核においてキリスト千年紀の新たな理念の象徴として変容を遂げることになる。

本論は、この新理念が、当時（12～13世紀中ば）の神聖ローマ帝国のヨーロッパ大陸の実質的支配者であり、ゲルマン民族そして神話の色濃い、アンデクス・メラン大公家の支配地から発信されていたことを例証する。また、この大公家がゲルマン神話ではなく、アーサー王伝説に根ざした新たな神聖ローマ帝国の統治システムを目指していたことを、この大公領（後のアンズバハ・パイロイト辺境伯領）の出身者で、当時最高の文化人そして騎士の鏡と称されたミネゼンガー、ヴォルフラム・フォン・エッセンバッハの著した「パルツィヴァール」とヴィルント・フォン・グラーフエンベルクの「ヴィーガロイス」から明らかにする。

そこには西洋的なキリスト教的死生観とともに、「円卓」や「聖杯」、「運命の車輪」などに象徴される輪廻観が戦闘や殺戮の無常とともに主張され、東洋的宗教観との一体化が目指されている。すなわち、人類共通の苦悩（共苦、Mitleid、Compassion）への救済あるいは解決への人間観・世界観が叙述される。

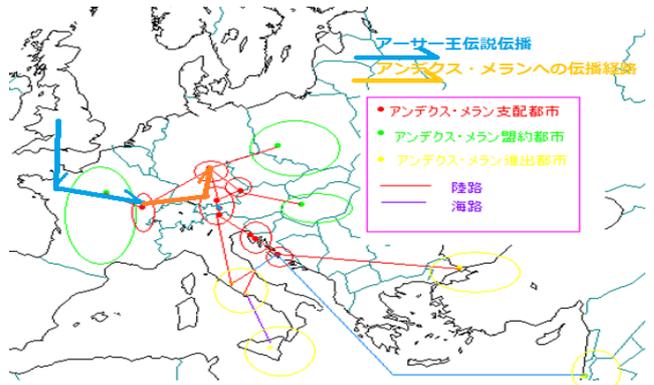
今日、ゲルマン神話の世界を現出させると言われる歌劇王リヒャルト・ヴァーグナーの音楽祭が行われるこのパイロイトの地に、アンデクス・メラン大公家そして皇帝フリードリヒ2世らによって、現代をも見据えた共存と共生の時代へのグローバルな精神文化が根付いていたことに及びたい。



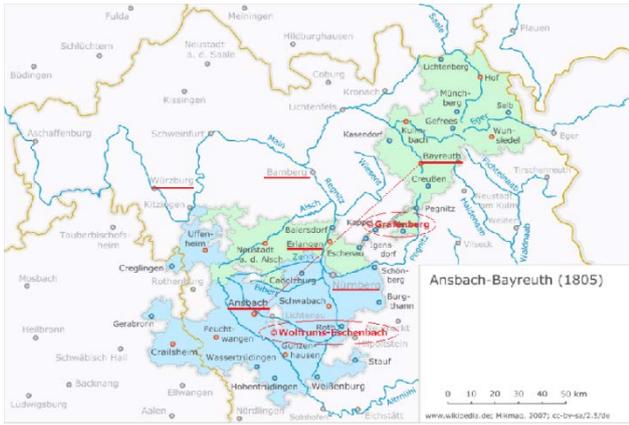
第1図 Arthur and Knights of the Round Table (Image)



第2図 Herzog Andechs-Meranien



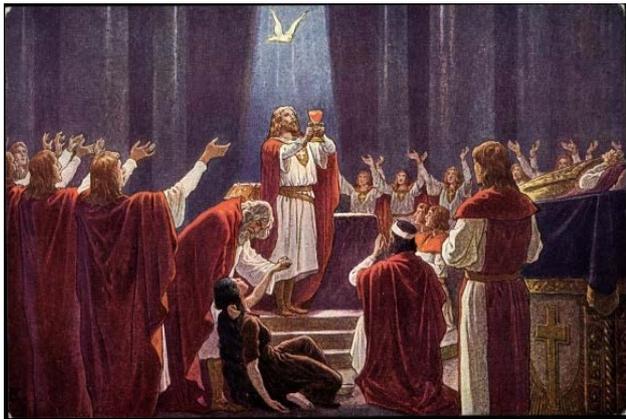
第3図 Legend of ArthurのAndechs-Meranienへの伝播経路(推定)



第4図 Wolframs-EschenbachとGräfenberg



第8図 Gräfenberg(in Erlangen, 筆者撮影)



第5図 Parzival and Holy Grail (Image)



第9図 Sir Gawain, Knights of the Round Table in Wigalois



第6図 Wolframs Eschenbach (in Ansbach, 筆者撮影)



第7図 Wigalois, Manuscripts

〈主要参考文献〉

Rainer Trübsbach, *Geschichte der Stadt Bayreuth*. 1194–1994. Druckhaus Bayreuth, 1993

Alan Lupack, *Guide to Arthurian Literature and Legend*, Oxford University Press, 2005

Richard Barber, *The Holy Grail – the History of the Legend*, 2004

DIE ANDECHS-MERANIER in FRANKEN: EUROPAISCHES FURSTENTUM IM HOCHMITTELALTER, Zabern, 1998

Josef/Brockhoff, Evamaria (Hrsg.) Kirmeier (Autor), *Herzöge und Heilige. Das Geschlecht der Andechs-Meranier im europäischen Hochmittelalter*, Haus Bayerischen Geschichte, 1993

J.A.Schultes, *Diplomatische Beyträge Zur Geschichte Der Grafen Von Andechs Und Nachherigen Herzoge Von Meran*, Nabu, 2011

Wolfram von Eschenbach, *Pazival Text I, II*, Deutscher Klassiker Verlag, 1994

J. Bunke, *Wolfram von Eschenbach*, Stuttgart, 2004

Wirnt von Gräfenberg, *Wigalois*, de Gruyter Texte, 2005

J.W Thomas, *Wigalois: The Knight of Fortune's Wheel*, 2001

川西、『聖杯騎士伝説の研究』、関西学院大学出版会、2016

〈主要現地研究協力機関〉

Historischer Verein für Oberfranken e.V., Stadt Wolframs-Eschenbach, Gräfenberg, Bayreuth, Nürnberg, Bamberg